

## Information

### 生理用品をお渡ししています

新型コロナウイルスの感染拡大等に伴い、生活に不安を抱える女性への支援のため、愛媛県内のメーカー3社から今治市に生理用品が寄贈されました。今治市社会福祉協議会も生理用品を配布する場所となっています。

### 新型コロナ特例貸付の申込期間が延長

新型コロナウイルス感染症の影響により、休業や失業等で収入が減少し、生活が困窮している世帯を対象とした生活福祉資金特例貸付（緊急小口資金、総合支援資金【初回および再貸付】）の申込受付期間が今年の11月30日まで延長となりました。

気づこう



つながろう

## 認知症の人や家族が安心して暮らせるまちを ～9月は世界アルツハイマー月間です～

毎年9月21日は「世界アルツハイマーデー」と制定されています。また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、認知症理解のための取り組みが行われています。今治市で行われている認知症介護者のための学習や家族会をご紹介します。

### 今治市認知症介護者の会「たんぽぽ」のご紹介

～日頃の介護での悩みや不安についてお話ししましょう～

- 活動日時 毎月、第2土曜日、第4土曜日の13:30～15:30
- 活動場所 今治市総合福祉センター愛らんど今治  
※ボランティアで活動して下さる会員も募集しています
- 会の代表 菅 浩さん（連絡窓口 金子悦美さん 080-2973-0408）

ぜひ、一緒に楽しく  
集まりませんか？



### 今治市認知症在宅介護者のつどい「みかん学級」

～認知症高齢者を介護されている方を対象とした学習と情報交換の場です～

	愛らんど会場	伯方会場
●日時	9月27日（月）13:30～15:30	10月4日（月）13:30～15:30
●場所	今治市総合福祉センター	今治市伯方農村環境改善センター
●内容（共通）	◇講話・DVD鑑賞「コミュニケーションについて～回想法を通して学ぶ～」 （講師：今治看護専門学校 副校長 眞鍋 誠子 先生） ◇座談会 小グループにわかれて座談会を行います	

※伯方会場の日程が9月13日から10月4日に延期することとなりました。

※参加は無料です。新型コロナ感染拡大の影響で、やむを得ず、延期・中止となる場合があります。

#### 問合せ・申込先

今治市社会福祉協議会地域福祉課またはお住まいの地区の今治市社会福祉協議会支部までお気軽にご連絡ください。

福祉情報 INCLU

生きづらさを抱える方々に心を寄せるご意見や活動を募集しています。

〈編集・発行〉今治市社会福祉協議会地域福祉課(地域福祉係)

〒794-0043 今治市南宝来町1丁目9-8 今治市総合福祉センター内

TEL 0898-22-6063 FAX 0898-34-6915

今治市社会福祉協議会ボランティアセンターも、「シトラスリボン運動」の趣旨に賛同し、この運動を広げます。



Citrus Ribbon PROJECT



# 福祉情報 INCLU

-第10号-  
2021.9

今治市社会福祉協議会  
ボランティアセンター  
tel 0898-22-6063  
fax 0898-34-6915

### Inclusive(インクルーシブ)

「包み込む、共生」からとっており、一人ひとりの違いを認め、尊重し合い、支え合って地域とともに暮らしていこう、という意味を込めています。

## 東京パラリンピック2020 感動をありがとう vol.1



サンアビリティーズ今治に集まり、声援を送りました



地元で凱旋した山口尚秀選手



キラッといきる

大きな感動をいただいた「東京パラリンピック2020」。今治市の出身では、男子競泳の山口尚秀選手とアーチェリーの永野美穂選手が出場されました。

今回の号では、金メダルに輝いた山口尚秀選手と声援の様子をご紹介します。

保育園に通っている頃、知的障がいに伴う自閉症と診断された山口選手は小学4年生で水泳を始められたそうです。高校生の頃からは本格的にパラ競泳に取り組み、1m87cmの長身と30cmの大きな足、肩甲骨まわりの柔軟性を生かしたダイナミックな泳ぎでトップスイマーとなりました。

そして迎えた「東京パラリンピック2020」競泳男子100m平泳ぎの決勝。地元今治からもテレビの前で多くの人たちが声援を送りました。山口選手は自身が持つ世界記録を更新する1分3秒77のタイムで見事金メダルを獲得。

この日、サンアビリティーズ今治で声援を送った今治市手をつなぐ育成会の矢野信子さんは、「感動をありがとう。並々ならぬ努力を重ねてこられたのだと思います。」と。また、時々プールで山口選手の練習風景を見かけていたという今治市社会福祉協議会の西部滉平さんは、「山口選手の泳ぎ、そしてレース展開は、本当に素晴らしかったです。」と、感激した胸の内を語ってくれました。

今後も、山口選手のご活躍が多くのメディアで紹介されることと思います。ぜひ、ご覧いただけたらと思います。次回の号でも、『東京パラリンピック2020 感動をありがとう』と題して、永野美穂選手のご紹介もあわせて掲載する予定です。

写真のご提供 矢野信子さん(左側)、四国ガス株式会社 様(右側)

### 10月から赤い羽根共同募金が始まります

来月から「赤い羽根共同募金運動」がスタートするにあたり、募金運動にご協力いただいているみなさまに募金のお願いや運動資材を配送する準備を行っています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部、例年と異なった方法での募金活動となりますが、温かいご理解とご協力をお願いします。



募金資材の配送準備を行う職員

## スクラムを組んで、平時から取り組もう

### インクルーシブ防災への第1歩～誰ひとり取り残さないために～



7月に市総合福祉センターで開催されました第10回自主防災研究大会（主催 今治市防災士会）。その中で、注目されたのは「インクルーシブ防災」という考え方。自力での避難行動が困難な方や、避難生活で特別な配慮を必要とする方など、『誰ひとり取り残さない防災』をめざしていくというものです。

今治市社会福祉協議会もこの研究大会に参加し、障がいのある方の福祉サービス等の利用計画を作成している相談支援専門員と地域福祉活動を推進している福祉活動専門員が、本人や家族と災害時の避難方法を話し合い、地域の方々に協力をお願いして、実際に避難訓練を行った事例を紹介しました。今後も、行政や地域の関係者とも協働し、本人・家族と地域をつなぐ役目となるよう努めていきたいと思ひます。



矢野千菊さん

ふだん外出時にガイドをしてくれるヘルパーさんは、災害時には来れるとは限らない。視覚障がい者の私たちも、もっと防災について学ぶ機会をもつ必要がある。



清水芳寛さん

重度の麻痺があり、避難所で過ごすことが難しく、災害があっても「逃げない」という選択肢をもっていた。インクルーシブ防災のことを知り、少し前向きな気持ちになることができた。ぜひ、この取り組みが進んでほしい。

### 災害ボランティア活動の連携強化に向けて

平成30年7月豪雨から3年が経過しました。3年前、今治市でも島しょ部を中心に土砂災害による甚大な被害が発生し、災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災者の生活再建を支える活動が行われました。

3年前の経験や学びをいかし、今後、起こりうる災害に備え、災害ボランティアセンターの運営を担う今治市の福祉政策課や社協の担当者、NPO等で連携会議を開催しました。

公益社団法人今治青年会議所の黒瀬太樹理事長からは、メーリングリスト等の新たなツールを活用して、日頃から積極的に情報共有を行ってほしいと提案をいただきました。



新型コロナの感染拡大が続く中、今治市で災害が発生した場合に、市外からボランティアを受け入れることが難しくなることが考えられます。平常時から市内のネットワークを広げ、災害時には被災者から寄せられる困りごとに対応していくために、ご協力いただける方や団体・企業等の登録を受付しています。

福祉情報INCLUに掲載している情報は、今治市社会福祉協議会ホームページからもご覧いただけます



コロナ禍でも、最近は学校や企業から地域のためにできるボランティア活動や寄付をしたいなどの相談を受けることが多くなってきました。本当にありがとうございます。みなさまの思いをつなげ、形にしていくお手伝いも大切なわたしたちの役割だと考えています。

各支部の福祉活動専門員が地域福祉活動やボランティア活動に関する相談も受付しています。お気軽にご連絡ください。



### 近見中からご寄付いただきました



近見中学校では、生徒会が中心となりアルミ缶の回収活動およびアルミ缶アートを実施しています。校内での呼びかけに加え、幼稚園や近見小学校、スーパーなど地域の協力もあって、集まったアルミ缶はアート製作に活用し、その後、リサイクル業者を通じて、リサイクルし、その費用で車いすを購入しました。



リサイクルで購入した車いすは、毎回、今治市社会福祉協議会に寄付をしていただいております。ケガや病気で一時的に車いすが必要となった方や、外泊や外出時に車いすが必要な方の短期貸出用の車いすとして役立てさせていただきます。

また、近見中学校では、昨年からの新型コロナ禍での取り組みとして、シトラスリボンの配付や募金活動を行っており、その募金を今治市社会福祉協議会に寄付していただきました。

この募金は、今後、コロナ禍で地域から求められている事業に活用させていただきます。ありがとうございました。

### 共同募金公募事業補助団体を決定！

新型コロナウイルス感染拡大で日常生活にも大きな影響が及び、生活上の不安や悩みをもつ方など、支えを必要とする方へのサポートやつながりを絶やさない活動が求められます。

このような中、共同募金配分金を財源に、地域の実情に応じた福祉活動を行う団体の事業を応援するための公募事業を今年度も実施することとし、応募のあった団体の事業内容等を審査し、次の団体の事業に対して、補助金交付を決定しました。



#### 令和3年度の補助決定団体と実施事業

	団体名	事業名
1	つどい場だんだん	地域で学んで支え合おう
2	東予がん患者と家族の会（すまいるの会）	がんに負けない心・身体・地域づくり
3	HAKUNA MATATA	いまばりにほんごオンラインc a f e
4	今治市難聴者協会（えがお）	聴導犬のデモンストレーションと体験談
5	つながる子育て ちょちちょち	今治オンライン子育てひろば ちょちちょち

（順不同）



ボランティア情報は、ボランティアセンターのFacebookでも発信しています